

平成29年度自己評価結果表(教員による評価)

本園ではこのたび、平成29年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施しました。教職員一人ひとりが自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直す良い機会になったのではないかと思います。

また、それぞれの評価結果について、みんなが話し合うことにより、今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受け止め、さらなる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質の向上につとめてまいります。

	評価項目	結果	取り組み状況
教育方針	幼稚園の教育要領の精神を踏まえ、自園の教育方針・教育理念に基づいて幼児教育をしている。	A	本園の教育方針を全教職員が理解し、それを現実の保育に沿わせるように、具体的な場面について話し合う。
指導計画	指導計画を学年の保育者間で十分話し合い、計画案を評価、反省し、他の教員と多面的に見直している。	A	本園の教育方針を基盤として、バランスの取れた保育をめざすためには、しっかりした指導計画が必要である。来年度からは、自己の学年間だけでなく、他学年の指導計画も参考にできるようなシステム作りを行う。
保育内容	個々の園児を担任だけでなく、全教職員で見守り育て、常に情報交換を行いながら、担任は個々の園児の課題に対し、適切な助言や指導を与え、信頼関係を築くよう接している。	A	全教員で日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日職員間で持つようしており、自由に意見交換ができる環境を作っている。
保育環境	絵本などのさらなる充実の他、園の道具・用具教材などの整理整頓、保管や遊具、教室の環境の点検をしっかりとこなうとともに、不審者等に対する安全管理体制を充実させている。	B	本年より、園の各教室、施設、遊具などの「安全点検」を、各教職員が分担する形で毎月行うようになった。さらにそれを進めて、不具合の箇所の修理および衛生面での管理を徹底する。
食育	学年で野菜を植えたり、お芋堀りに出かけたり、給食については、業者と常に連絡をとりながら、みんなで食べるおいしさが感じられる幅広い食育活動が実践できた。	A	季節感を味わえるよう、給食の内容を工夫したり、子ども達が楽しい、美味しいと思うよう、常に教員が園児に寄り添いながら楽しく昼食を取るよう工夫している。

<p>家庭との連絡</p>	<p>園は個人情報の保護に十分に配慮しながら、フェイスブックやLINEによって、子ども達の様子をわかりやすく発信し、園や学年などの様子についても、「幼稚園だより」や「学年通信」「クラスだより」を通じてわかりやすく伝えられている。</p>	<p>A</p>	<p>園から発信する画像、文書については個人情報の保護が図られなければならない。 保護者に学年やクラスの様子および園の行事を知らせることは保護者への情報提供という意味で重要である。</p>
<p>保護者への対応</p>	<p>その日の子ども様子など、お帰りの後の電話などで必要に応じて保護者に連絡したり、保護者からの質問・相談には丁寧に対応し、子どものケガなどが発生した場合には、丁寧に状況が報告されている。</p>	<p>A</p>	<p>保護者にとって子どもが1日園で、どのような生活を送っているかは心配なものである。 教員は常に保護者との信頼関係を築くよう努力すると共に、何かあれば直接保護者と連絡を取り常に和やかな関係を構築するよう努めると共に、時期を逸することなく早めに対応する。</p>
<p>園行事</p>	<p>園の各行事は保護者が参加しやすいように工夫している。</p>	<p>B</p>	<p>園の行事としては、園内で行う参観やバザー、園外で行う運動会やお遊戯会、音楽会などがある。園内の行事では会場が狭いので、バザーの実施内容の再検討や、園外の会館を利用した行事なども、人数制限などを行い、保護者が参加しやすい内容に検討する。</p>

【評価の基準】

- A 十分達成できている
- B 達成されている
- C 取り組まれているが成果が十分でない
- D 取り組みが不十分である